

# 高機能堆肥化装置の開発



もっと豊かな食を。  
もっと豊かな未来のために。



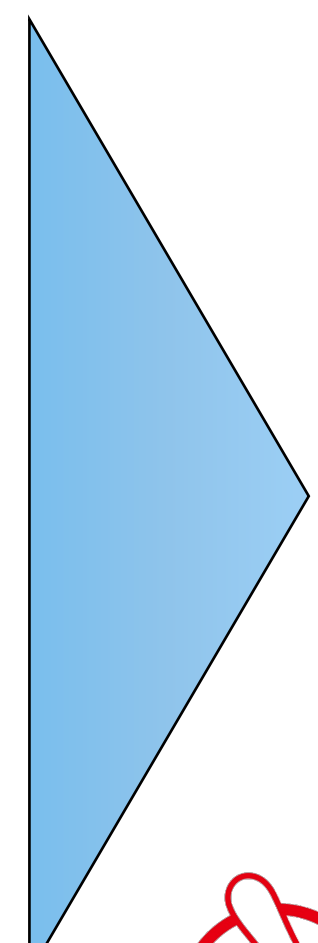
【従来方式】  
堆積型堆肥化装置（堆肥舎）



【本課題で採用する方式】  
密閉縦型堆肥化装置

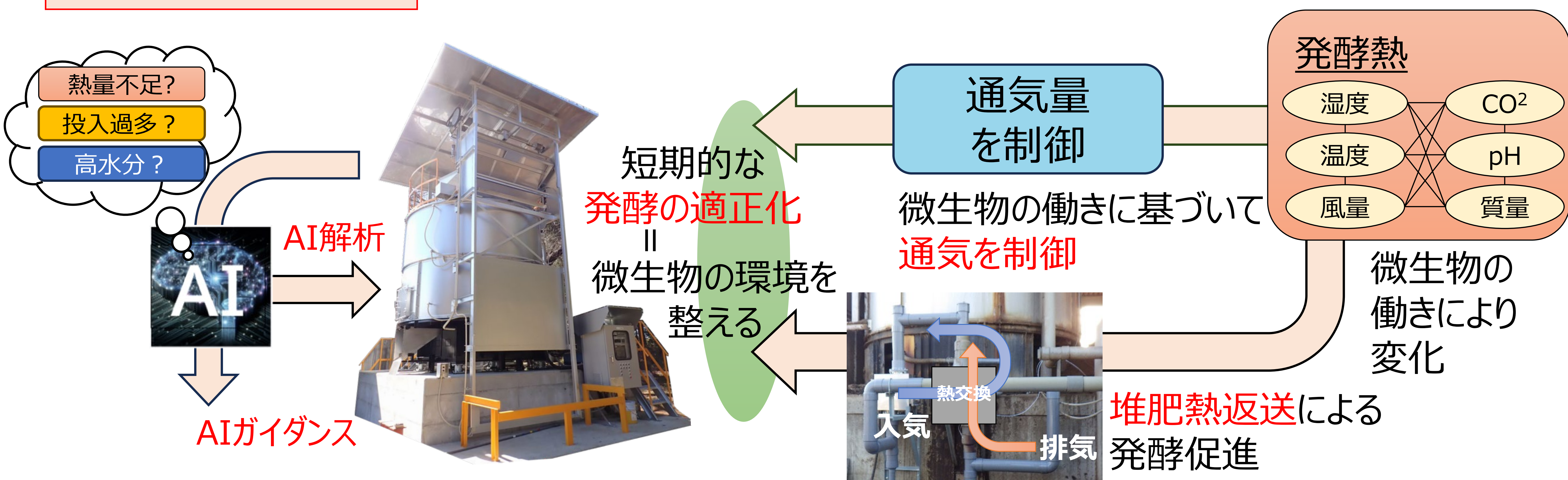
- 主な長所
  - ・ 初期費用が安い
  - ・ 発酵途中の状態を確認できる
- 主な短所
  - ・ 繰り返し作業に労力がかかる
  - ・ 気温の影響を受けやすく、日数がかかる
  - ・ 広い設置面積が必要

- 主な長所
  - ・ 繰り返し作業が不要で、省力的
  - ・ 気温の影響を抑えられ短時間で堆肥化可能
  - ・ 設置面積が小さい
- 主な短所
  - ・ 発酵不良時には、内部の材料を全量排出し、堆肥と少量の糞からやりなおす作業が必要



**POINT!** AIを活用して発酵不良を抑止する技術を開発

## 高機能密閉縦型 堆肥化装置の概要



発酵状態をデータ化。データには表れにくい  
発酵状態を予測可能なAIを開発 → 長期的な管理の適正化

**目標** 15日間で堆肥を安定的に生産できる高機能堆肥化装置を開発